

# OYABE VOICE

2024年  
夏号

おやべ市議会だより | No.214 2024.8

議員は市民の代表、あなたの声を聴き市政に届けています。そんな議会の活動をお伝えします。

特集

移住者の皆さん！



# 小矢部市に移住された皆さんの声です

森永さん夫妻 …… 2020年に東京から、夫の転職がきっかけで移住。古民家を購入。

山本さん …… 2009年に金沢市周辺で広い土地を求めて引越し、家を新築。

梶内さん …… 2023年に横浜より移住。古民家と耕作放棄地の再生に取り組む。地域おこし協力隊。

東海さん …… 2021年に夫婦の勤務地の中間にある小矢部市に移住。

— 小矢部市を選んだ理由を教えてください。

- ・ 自然豊かな小矢部市に、大都会とのギャップを感じて、逆にそれが良かった。
- ・ 夫婦の勤務地が射水市と石川県であり、その中間地点として小矢部市を選んだ。
- ・ 金沢市周辺と比較して、土地が安かった。
- ・ 少し田舎で、子育てしやすい環境だと思った。
- ・ 外で子どもを遊ばせていても安心。
- ・ 渋滞が無く、通勤が楽。
- ・ 東京や横浜近辺で暮らしていたが、自然が好きで、野菜を育てたり、田んぼをしたりすることができる場所を探していた。
- ・ 山梨、長野を見て回り、実は雪国は嫌だと思っていたが、見に来たら、集落も気に入って、「枠の内」の家が素敵だった。

— 住んでみて良かったことは何ですか。

- ・ 渋滞が無いこと。
- ・ 家が広くて、豊かな風景である。
- ・ 都会には土や石が無いので、自然の土があるのはいいい。
- ・ 四季が豊かで、自然が本当に綺麗で、五月に田んぼに水を張って、そこに夕日が映っているのは最高。
- ・ 自然の力で、勝手にストレスがなくなっていく。
- ・ 「枠の内」の家に感動。価値があると思う。
- ・ 近所の人が畑にいたりして、近くに気遣ってくれる方がいるのはいいとを感じる。
- ・ 空が広いし、夜の星空がすごく綺麗。
- ・ 月の満ち欠けがわかり、満月の明るさは都会では経験できない。
- ・ 空き家を買ったが、オーナーがいい方で、お付き合いを続けていきたい。
- ・ 古民家の屋号を覚えてもらい、家や集落にまつわるストーリーがあるのは、うれしく感じる。
- ・ 飲食店の数は少ないが、個人のお店が結構あって、生活はしやすい。また、そういった個人店で移住者同士の集まりができて良かった。
- ・ 移住者の会のようなグループができて、野菜の収穫体験をしたり、一緒に食事をしたりすることができている。
- ・ 班の新年会に呼ばれたり、仕事の世話もしてもらえた。よそ者を受け入れてもらえてうれしい。
- ・ 小さな小学校ゆえに勉強をよく教えてもらえるし、友達同士も仲良くなっている。
- ・ 子どもたちにとっては、自然豊かな中で伸び伸びと育つことができる。



森永さん夫妻

——逆に住んでみて良くなかったことは何ですか。

- ・豊かな自然を、小矢部市の強みに変えてほしい。
- ・昔は近隣市町村よりも人口が多かったと聞か、今はシャッター街で寂しい。
- ・いい街にするために、プランニングや企画をする人がいればいい。

- ・古民家を見て思うが、小矢部市の本当の魅力を再確認して、若い人たちが移住者と一緒に何かをやり始めたら、活気が出るのではないか。
- ・メルヘン建築よりも、「枠の内」を用いた小学校の方が面白いと思う。

- ・妻が妊娠しているが、小矢部市で子どもを産めない。高岡の病院へ行っている。

- ・移住者の出産の場合、親が近くにいるわけではないので、何かあった時が心配である。

- ・陣痛タクシーが無く、タクシーが足りない。
- ・富山大学附属病院でしか産めず遠くて不安だった。
- ・万雑や江波いにビックリした。最初は何のことがわからなかった。



山本さん



梶内さん

——小矢部市に望むことはどんなことですか。

- ・小矢部市をこれから支えていく子どもたちにも、もっとお金をかけてほしい。それが将来小矢部市に返ってくると思う。

- ・子どもたちがもっと伸びるように、面白く育て、小矢部市独自の教育があってもいい。

- ・中学では縄文土器を作ったり、郷土を学んだりする授業があるが、他にもまだまだユーモア溢れるような面白いことをさせてやりたい。

- ・里山でも、四季折々にそこにあるもので、色々な自然体験ができればいいと思う。

- ・富山市にリースクールがあるが、自然豊かな所で遊ばせながら学ばせていくというスクールが、小矢部市にもあったらいい。小矢部市にはその環境が整っていると感じる。

- ・空き家をそのまましておくのではなくて、リノベーションして、クオリティを高めて、例えば子どもたちが伸び伸び遊べる場所にする。

- ・ダンス等のイベントをやっているが、1%事業の場合は条件が多々あって、もっと使い勝手の良い補助金があればいい。

- ・農業祭に、農業者のバンドを参加させてほしい。ダンスとのコラボも面白いと思う。

- ・クロスランドの広場でヨガフェスをやりたい。

- ・定住促進住宅取得助成金は3年以内に住宅取得という条件があるが、登記の問題があったので、3年よりも長い期間、5年とかにした方がいいと思う。

- ・移住支援金は、東京23区在住者又は通勤者に限られるので、市独自の補助金があれば、移住者にとっては有難い。他市では家がもらえる制度もある。



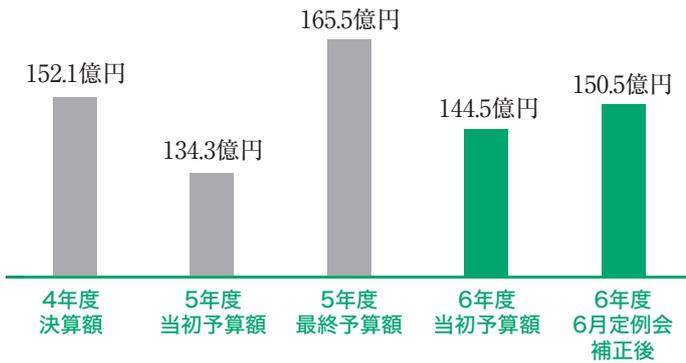
東海さん

——インタビュを終えて

移住者の皆さんから、貴重なご意見をいただきました。我々では気付かない小矢部市の良さを教えてもらったように思います。

これからも皆さんと共に、もっと住み良いまちづくりに努めてまいります。

# 7 市民は知っておきたい 令和6年度の注目予算 のポイント



今定例会では、一般会計で6億615.5万円の補正予算案が上程され、原案のとおり可決されました。

## Point 1

### 低所得者に対する給付金の支給

デフレ完全脱却のための総合経済対策として、所得税・個人住民税の「定額減税」が行われますが、定額減税しきれないと見込まれる場合、手続きの上、給付金が支給されます。

●支給対象：令和6年度住民税が小矢部市から課税されており、定額減税しきれない額が生じることが見込まれる方

●支給開始日：令和6年8月（予定）

#### ※定額減税

納税者及び扶養親族等1人につき、4万円（所得税3万円、個人住民税所得割1万円）の定額減税が行われます。

事業費 **2億3,563.1万円**

令和6年度の補正予算などを審査する

# 6月定例会

## June

3・6・9・12月に開催される定例会の内容をお届けします。6月定例会では、上程議案「補正予算1件、条例改正5件、議員提出議案2件、その他議案3件、承認2件、人事案件1件」を審査しました。

### 6月定例会の流れ



▲動画配信中

- 本会議**  
1 6/14(金) 10:00-  
市長による議案の提案理由説明
- 全員協議会**  
2 6/14(金) 10:35-  
担当部長等による提出された議案の説明
- 本会議**  
3 6/20(木) 10:00-  
6/21(金) 10:00-  
上程議案への質疑並びに市政に対する代表質問・一般質問
- 委員会**  
4 6/24(月) 10:00- 総合計画特別委員会  
6/24(月) 14:00- 民生文教常任委員会  
6/25(火) 10:00- 交通観光特別委員会  
6/25(火) 14:00- 総務産業建設常任委員会
- 全員協議会**  
5 6/27(木) 13:30-  
担当部長等による追加議案の説明
- 本会議**  
6 6/27(木) 15:00-  
議案の討論・採決など

議員別賛否状況は、11ページをご覧ください。

Point 4

## 太陽光発電設備導入支援

住宅用太陽光発電設備・蓄電池の設置、事業所用太陽光発電設備・蓄電池の設置を導入を支援します。

事業費 **4,460万円**



Point 5

## 市内農業者への支援

作物の品質向上などを図るため、いちご保存用のプレハブ冷蔵庫の整備を行う市内農業者を支援します。

事業費 **334.8万円**



富山県の育成品種である「富富富」の生産拡大を図ろうとする市内農業者を支援します。

事業費 **942.3万円**



Point 6

## 鳥獣被害防止対策

クマなどによる人身被害等防止のため、管理することができず放置された果樹の伐採費用を補助し、安全な集落環境の確保を図ります。

●補助率：補助対象経費の2分の1以内

●補助上限額：

伐採する果樹1本あたり7,500円

事業費 **22.5万円**



Point 7

## 市道整備の推進

歩道整備や路肩改良、道路拡幅などの市道整備を実施し、歩行者の安全確保と円滑な交通確保を進めます。

事業費 **337.3万円**



Point 2

## 新型コロナウイルスワクチン 定期接種実施

新型コロナウイルスワクチンの定期接種が始まります。

事業費 **7,111.6万円**



●対象者：

・65歳以上の高齢者

・60歳から64歳までの一定の基礎疾患のある人

●接種時期：令和6年10月から12月まで（予定）

●接種費用については、令和5年度までは臨時接種のため、全額国費対応（自己負担なし）であったが、令和6年度から定期接種化され、次のとおり自己負担が生じます。

※参考 R6接種費用（見込）  
1回当たり15,300円のうち  
13,200円：市委託単価  
2,100円：自己負担

Point 3

## 能登半島地震で被災された 建物の公費解体、住家の応急修理

能登半島地震で被災した損壊家屋等を市の負担で解体する「公費解体」等の支援を進めます。

●被災住家の応急修理費

事業費 **3,564.3万円**

●倒壊ブロック塀等収集運搬費

事業費 **101万円**



●損壊家屋等解体・撤去費

事業費 **1億1,627.5万円**

●災害廃棄物受入費等

事業費 **600万円**





# 定例会中の 質問や意見をご紹介します

今定例会中に上程議案や市政全般に対して、議員からあった質問・意見の一部をご紹介します。  
なお、全ては掲載できないため、興味のある方はYouTubeの動画や議事録をご参照ください。

## 総務産業建設常任委員会

SNSの普及等により、名札から職員の名前を検索し個人情報を探ったり、公開されたりするなど、名札が職員のプライバシー侵害につながる懸念があることから、職員が安心して働ける職場づくりの一環として、職員用名札の表記を「名字のみ」とし、幅広い年代の市民にとってわかりやすく、親しみやすい名札に見直されます。



### 見直しの内容

- ・氏名部分を「名字のみ」とし、「ひらがな」で表示
- ・誰にでも読みやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを採用
- ・大きさを名刺サイズ（縦91mm×横55mm）に変更

じて見直しを図る。

必要ではという声もあった。県内の自治体ではひらがな表記のみの自治体が多く、小矢部市はひらがな表記のみとした。今後必要に応じて見直しを図る。

**答** 部署によっては、

るのではないかと

る中では、配慮に欠け

を訪れる機会も多くあ

も増えており、市庁舎

語表記の部署名が入っ

ていた。外国人就労者

を増やしている自治体

を見たが、名前をロー

マ字表記、部署名も英

語表記の部署名が入っ

ていた。外国人就労者

を増やしている自治体

を見たが、名前をロー

マ字表記、部署名も英

語表記の部署名が入っ

ていた。外国人就労者

を増やしている自治体

を見たが、名前をロー

マ字表記、部署名も英

語表記の部署名が入っ

ていた。外国人就労者

を増やしている自治体

Pick Up  
職員用名札の見直しについて

## 民生文教常任委員会

マイナンバーカードと健康保険証が一体化することに係る富山県後期高齢者医療広域連合規約を一部変更するものです。

### 変更の内容

- ・国において、マイナンバー法等が改正され、現行の新規健康保険証の発行については、令和6年12月2日をもって終了し、マイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行します。なお、それ以前に交付された従来の健康保険証は、最大1年間有効とする経過措置等があります。
- ・マイナンバーカードを取得していない方やマイナンバーカードを保険証として利用登録がお済みでない方は、被保険者証の代わりとなる「資格確認書」が交付され、医療を受けることができます。

**答** 令和6年12月2日をもって、被保険者証、資格証明書の発行が廃止される。マイナ保険証を保有していない方は申請していただくことなく、資格確認証が

ことが。

は使えなくなるという

資格証明書が使われて

いるが、規約の変更後

交付され、引き続き医

療を受けることができ

る。



Pick Up  
富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

## 代表質問

**問** 地震災害の復旧状況や庁舎の建て替え方法、線状降水帯による農地の復旧状況を問う。

**答** 緊急地震速報機は現庁舎の状況を鑑みると、庁舎内で働く職員や来庁者の安全性を高めるため、機種の検討や導入した場合の運用方法の検討を進める。住宅被害については応急修理を行っている、半壊以上の公費解体を除いた94件の方については個別に相談を行っているところである。下水道は市民生活に大切なインフラであり、綾子地区及び西中野地区は復旧工事の優先度が高い地区であることから早急な復旧に努める。新庁舎はこれからの時代に求められる庁舎機能を備えるよう取り組

んでまいりたい。農地復旧は地元関係者と協議を重ね、今月末より順次工事発注を行う。引き続き地元関係者と協議を密に図り離農者が出るのではないよう国、県の支援事業、市独自の地元負担金が発生しない小災害復旧事業を活用し、農地の早期復旧に努める。

**問** 小矢部市に於ける人口減少対策を問う。

**答** 本市では、若者の市内企業への定着と人材確保の観点から企業見学バスツアーや広報おやべでの企業紹介、また企業紹介PR動画の制作支援事業に取り組んでいる。本年2月29日には、本市と厚生労働省富山労働局との間で雇用対策協定を締結し、今年度から若者

や女性の就職支援などおやベルネサンス総合戦略に掲げる雇用関連分野において連携を深めていく。デイサービス型産後ケアの拡充については、利用状況を見ながら委託先の北陸中央病院と協議を続け、しっかりと検討する。

**問** 交通の要衝である小矢部市の道路交通問題を問う。

**答** 国道359号内山地区の崩落については設計作業を鋭意進めており、国土交通省との協議が整い次第、工事発注を行う。国道8号の整備に関する石川県との協力には平成25年度から津幡町と合同で要望活動を行っており、それぞれ重点要望の際に県に対し国に働きかける要望を行っている。このほか県内において高岡市とも合同で要望活動を行っており、これらの市町と連携し整備の推進に働きかける。

**問** 人口減少、少子化の最大の原因は、未婚率の上昇である。婚活の取組みについて問う。

**答** 少子化の原因は、未婚化であると考えている。イベントでは、過去のノウハウを生かし、参加者の拡大に努め、マッチング率が高まるよう改善を図る。今後、出会いの機会の創出に努めていく。

**問** 少子化対策は、多子世帯、第3子以降に手厚くしていくべき。

**答** 本市独自の少子化対策、特に多子世帯への対応については、令和7年度予算編成にて引き続き検討していく。

**問** 職場や仕事への愛着、忠誠心は重要である。職員のエンゲージメントの向上、具体的な取組みについて問う。

**答** 昨今の早期退職者の増加、職員の価値観の多様化の状況を鑑みると、対応が必要な時期にきている。組織全体の活力向上にもつながる。取組み事例等を参考に、検討していく。

**問** DXの推進とAIの活用、業務の見直しによる仕事量の削減が必要。生産性の向上なくして、今後の自治体経営は成り立たない。

**答** 地方自治体の行政課題は複雑、高度化し、市民ニーズも多様化しており、業務量は増えている。自治体DXを推進し職員の業務を軽減し、業務効率化を進めたいが、本市では目的達成に至っていない。

**問** 4月からの障害のある人への合理的配慮の提供の義務化、法定

雇用率の引き上げへの対応について問う。

**答** 砺波地域障害者自立支援協議会において、連携体制づくりを行っている。公共職業安定所等と連携し、障害者雇用を努めたことで、法定雇用率は達成できる見込みである。

**問** 介護事業者のBCP（事業継続計画）の策定状況、行政との連携について問う。

**答** 介護保険組合等に確認したが、未策定による減算の届出はない。今後、介護事業所と共同で防災訓練に取組むことも検討していく。

**議員のつとめ** 少子化対策や子育て支援は、この国の将来を担う子供たちのことであり、国がしっかりと取り組むべき。自治体の財政力によって、支援に差があってはいけない。全国一律、少なくとも県単位で統一した施策であるべき。



会派「新政」  
谷口 巧 議員

### 質問項目

- ・災害復旧復興状況について
- ・人口減少対策について
- ・道路交通問題について



会派「未来共創」  
中田 正樹 議員

### 質問項目

- ・人口減少と少子化対策
- ・職員の待遇、就業環境
- ・障害者への合理的配慮
- ・介護施設BCP策定状況

YouTubeで代表質問の動画を配信中!! ▶  
スマホで右記のQRコードをお読み取りください。



中田 議員



谷口 議員

## 一般質問



あたる 白井 中 議員

### 質問項目

- ・宇土市の取組について
- ・クロスランド周辺の更なる発展
- ・持続可能なまちづくり

**問** 行政視察先「熊本県宇土市」の取組について問う。

**答** 今後の本市の新庁舎建設に向け、参考にした点が3点あり、基本計画の策定の中で検討したい。1点目は、地震に強い免震構造。

2点目は、窓口業務を一階に集約したワンフロアストップ窓口。3点目は、太陽光など自然エネルギーを活用し環境に配慮する点。

**問** クロスランドおよび周辺のビジョンについて問う。

**答** おとぎの館の廃止、学校給食センターの移転改築に加え、本庁舎整備に伴う総合保健福祉センターの福祉機能の集約、市デイサービスセンターの在り方について検討していると

ころである。周辺施設の方向性等の協議を進め、クロスランドおよび周辺の更なる発展に取り組んでいきたい。

**問** 大卒女性の就労先に関する取組について問う。

**答** 本市には、仕事と家庭の両立が可能な「おやベイクボス宣言事業所」が84事業所あり、女性にとって魅力的な事業所が多数存在していると認識している。引き続き、市内企業の人材採用支援や企業誘致を進めるとともに、「おやベイクボス宣言事業所」の周知や「就活ラインとやま」の活用等により、働きやすい環境を求める女性に合った就労先の確保と、就労支援に勤めていきたい。



とよかず 竹松 豊一 議員

### 質問項目

- ・新庁舎整備について
- ・こども施策について
- ・带状疱疹ワクチン助成について

**問** 庁舎整備の方針を耐震化から改築へと変更された経緯を問う。

**答** 能登半島地震の被害から、耐震性が低く、再整備が望ましく、財政負担の抑制、平準化が図られるためである。

**問** 庁舎整備の免震構造への見解を問う。

**答** 建物に揺れが直接伝わらない構造で、災害対策拠点として業務継続ができる免震構造を第一に検討していく。

**問** 一般単独災害復旧事業債活用面積を問う。

**答** 被災前の延床面積の5千700平方メートルになると考えている。

**問** ワンフロアストップ窓口の見解を問う。

**答** 市民の利便性を高めることになり、福祉機能の集約化が前提になると考えている。

**問** 長く使え、愛される庁舎整備を問う。

**答** 市職員、来庁者の安全性、災害時対策拠点、市民の利便性向上など、これからの時代に求められる庁舎を十分に検討していく。

**問** 令和6年度末までの市子ども・子育て支援事業計画及び子ども未来応援計画を問う。

**答** 第3期小矢部市子ども・子育て支援事業計画として一つにする。

**問** 「ママもまんなか子育て支援プロジェクト」の見解を問う。

**答** オンライン活用した交流や相談であり、出かけることが難しい方に有効な方法である。

**問** 带状疱疹ワクチン助成の見解を問う。

**答** 国の検討審議の議論を注視していく。



よしはる 山田 吉晴 議員

### 質問項目

- ・子育て支援について
- ・健康づくりについて
- ・一貫教育方針について
- ・農業の課題等について

**問** 子育て中の母親や父親に寄り添った支援のため、子育てガイドブックを見直してはどうか。

**答** 本市の子育てガイドブックについては、各種手続や支援サービスなど、常に最新の情報を子育て世帯へ届けられるよう、毎年更新している。引き続き、子育ての不安や悩みが少しでも解消されるよう、訪問や相談、健診などの機会を通じて情報の提供を行っていく。

**問** 誰一人取り残さない健康づくりについて問う。

**答** 本市としては、今後も健康づくりに関する市民ボランティアと連携、協力しながら健康づくりを社会全体で支援していくという機

運を醸成することにより、個々人の行動が自発的に健康的な行動につながるよう、取り組んでいきたい。

**問** 他市の子ども一貫教育方針を参考に、本市のふるさと教育を充実させてはどうか。

**答** ふるさとに対する一層強い誇りと愛着、ふるさとに貢献したいという意識を児童生徒に醸成する教育について、市小中学校長会と協議していく。

**問** コシヒカリから富富への転換について問う。

**答** 県が行う富富への転換支援策を活用しながら、県やJAいなばと連携して、農業者が富富への切替えに向けて取り組みやすい環境づくりを進めていく。

◀ YouTubeで一般質問の動画を配信中!!  
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



山田 議員



竹松 議員



白井 議員

# 一般質問



はやし のぼる 議員

### 質問項目

- ・災害からの復旧・復興
- ・建設業の2024年問題
- ・職員の働き方改革
- ・学校給食について

**問** 令和5年7月豪雨災害の復旧状況を問う。

**答** 農地・農業用施設は、670か所のうち207か所が復旧。林道施設は、81か所のうち10か所が復旧。道路・河川等は、道路16か所のうち4か所、河川2か所のうち1か所が復旧。

**問** 令和6年能登半島地震の復旧状況を問う。

**答** 農地・農業用施設は、124か所のうち37か所が復旧。公費解体は53件の申請があった。住家を優先に実施し、年度内に全ての公費解体を完了する予定である。

**問** 職員の働き方改革について問う。

**答** まずは業務におけるペーパーレス化を進める。自治体DXの推進や業務改善を進める上で基本となる部分である

らと思っている。既存の事務の進め方を大きく見直すなど、全庁的に取り組んでいく必要がある。業務のペーパーレス化が進むことで、テレワーク勤務など、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方も可能になると考えており、職員一人一人が働きやすいと感じる職場づくりにつながるかと考えている。

**問** 学校給食費について問う。

**答** 今後の給食費の改定については、地産地消を推進する小矢部らしい給食の充実を図り、質や量、栄養バランスを確保した給食を提供することを前提に物価高騰の推移を注視しながら保護者の経済的負担の抑制に努めていきたい。



しまだ ゆきえ 議員

### 質問項目

- ・安全で安心な街づくり
- ・交通指導について
- ・チョイソコおやべ
- ・産後ケア宿泊型

**問** 市や地域での防災士の位置づけ進展したのか問う。

**答** 各地区の自主防災組織と防災士の方々と連携を強化していただきたいとの旨を伝え各組織の役員同士の意見交換会の場を設けることとなった。

**問** 備蓄品の整備について問う。

**答** トイレ後に処理袋を熱圧着により密封することができると自動圧着トイレ、軒先にトイレを設置するためのテナントの整備等防災倉庫で保管していきたい。

**問** 外国人の自転車利用時のヘルメット着用について問う。

**答** ヘルメット未着用で自転車を利用して外国人について、外国人向けの交通安全教室の開催、母国語で記載されたチラシを配布し啓発に取り組む。

**問** チョイソコおやべの事業所停留所について問う。

**答** 現在全部で342ヶ所あります。共通停留所137ヶ所、地域停留所63ヶ所、公共施設停留所46ヶ所、事業所停留所96ヶ所内病院・医療機関25ヶ所、理容・美容店13ヶ所、福祉施設11ヶ所。今後も地域や事業所のニーズに答え、停留所の増設を進めてまいりたい。

**問** 宿泊型の産後ケア事業の実施を問う。

**答** 非常にニーズは高いと思っているので、早い時期に中央病院と事業実施について協議を進めてまいりたいと思う。



いしましろうじ 石間 庄二 議員

### 質問項目

- ・台湾との交流事業について
- ・まちづくりについて
- ・消滅可能性自治体関連

**問** 台湾の方々にはホッケーが盛んな魅力的な小矢部市を交流事業で伝えることで、インバウンド需要の開拓や経済交流も期待されるが、本体の今後のホッケー交流の内容いかん。

**答** 現状においてホッケー交流は、指導者の派遣や生徒相互の派遣、訪問なども考えられるが、具体的な交流の形を今回の現地訪問を踏まえ、先方とも協議の上、進めてまいりたい。

**問** 今年の津沢夜高行燈祭りは、観光庁の補助事業による初の有料特別観覧席の話題性もあり、関係者からは、外国人も含め過去最高のお客さんの入りだったと聞かれますが、この観覧席の来年引き続きの実施いかん。

**答** この補助事業は本年度限りだが、協力いただいた保存会や観光協会等と今回の事業実施により得たノウハウを生かしつつ、課題や効果を精査し、来年度以降の実施の協議、検討をしてまいりたい。

**問** 本市が四月に公表された消滅可能性自治体から外れたことについて、市の「人口ビジョン」でも言及の過半数の外国人の転入増が今回の人口推計に影響していることが推察されるが、市はどう捉えているのか問う。

**答** 推計値が消滅可能性自治体の定義に当てはまらなかった一方、人口減少の傾向は依然として続いており、予断を許さない状況である。

YouTubeで一般質問の動画を配信中!! ▶  
スマホで右記のQRコードをお読み取りください。



石間議員



嶋田議員



林議員

## 一般質問



うへだ ゆみこ 議員  
上田 由美子

### 質問項目

- ・学校給食での有機米の利用について
- ・带状疱疹ワクチン接種費用助成について

**問** 今年4月、小矢部市内で有機米の栽培に取り組み団体の要望に対し、市長は学校給食に有機米を月1回少なくとも半年に1回利用すると回答された。この実施に向けた取組はどうか。また、実施時期はいつか。

**答** 担当課に、県内外の先進自治体の状況あるいは費用の負担等について調査研究するよう指示した。時期については、予算編成時を迎えて検討する。

**問** 小矢部市でのオーガニックビレッジ宣言はどんな見通しか。

**答** 有機農業を広める上で、生産に見合う適正価格の実施や安定した供給先の確保が欠かせないため、JAいなか等の関係機関と協議

していききたい。

**問** 带状疱疹にかかると症状が重い場合があるため、ワクチン接種を希望する人が増えている。費用が高いため県内の多くの自治体では助成が実施されていない。小矢部市でも助成が必要だ。

**答** 国で行われている、带状疱疹ワクチン定期接種化に向けての議論に注視していく。

### 議員のひとこと

その他に、月額2万8千840円支給される特別障害者手当は、在宅以外に、施設の種類のよっては入所している方も対象になることの周知を提案した。  
また、地震被害と石動断層・法林寺断層との関係について質問した。



いしだ よしひろ 議員  
石田 義弘

### 質問項目

- ・熱中症対策について
- ・台湾との交流事業
- ・災害復旧の現状について

**問** クーリングシェアの設置について聞

**答** 県内市町村では、主に庁舎や交流施設、図書館等を指定している。本市においても、類似の施設を指定する方針で調整しているところである。指定する施設が決まり次第、ホームページ等により、市民に周知する。

**問** 台湾訪問に対する所信と目的について聞

**答** 交流事業の実施に当たって、大きな目的となっているのがホッケータウン認定自治体として、今後、本市がどのような役割を担い、交流事業を通じた取組ができるかということである。特に観光分野においては、県内自治

体においても台湾からの誘客を図ることなどを目的として交流事業が進められている。近隣自治体と連携を図る上でも、本市として台湾の都市と継続的な関係性を構築できれば意義深いものと考えている。

**問** 災害復旧事業の進捗状況について聞

**答** 令和6年能登半島地震の被害については、道路4か所のうち3か所復旧工事に着手、農地・農業用施設は124か所のうち37か所復旧。下水道施設の復旧については、査定完了箇所の詳細設計を実施している段階であり、今後、工事で影響が想定される家屋の調査、水道管の仮設工事等を経て復旧工事を開始。

**問** 鳥獣被害の現状と今後の被害防止対策について聞

**答** 平成22年度にイノシシによる農作物被害が初めて発生し、それ以来防止対策に取り組んできた。令和4年度の被害額275万円に比べ、令和5年度には231万円に減少しており、対策の効果が現れていると考える。県への報告と市のホームページでの熊の日撃情報の更新を行い、関係機関との会議を開催。地域の声を反映した支援を検討し、国・県に要望しながら市民の安全を守るための対策を推進していく。

**問** ASO田園空間博物館プロジェクトという考え方をシティプロモーション戦略プランに取り入れられないか

**答** ASO田園空間博物館プロジェクトの考え方は、シティプロモーション戦略プランにおける市民の意識醸成に該当し、本市の魅力を発掘することで地域資源の魅力や価値を再認識し、市に対する愛着や誇りの形成につながると考えている。先進的事例を参考にし、プラン改定の際にはしっかりと検討していく。

### 議員のひとこと

シティプロモーション戦略プランは市民の意識醸成、魅力や価値観を再認識する重要なプランである。



ふじもと まさあき 議員  
藤本 雅明

### 質問項目

- ・鳥獣被害の現状と、被害防止対策について
- ・シティプロモーション戦略プランについて

問う。

**答** ASO田園空間博物館プロジェクトの考え方は、シティプロモーション戦略プランにおける市民の意識醸成に該当し、本市の魅力を発掘することで地域資源の魅力や価値を再認識し、市に対する愛着や誇りの形成につながると考えている。先進的事例を参考にし、プラン改定の際にはしっかりと検討していく。



◀ YouTubeで一般質問の動画を配信中!!  
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



藤本議員



石田議員



上田議員



# 6月定例会の議決結果

## 審議された議案等、議員別賛否状況

### ▼ 全会一致で議決された議案

議案番号	議案名	議決結果
議案第 29 号	小矢部市地域再生法に基づく地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について	可決
議案第 30 号	小矢部市商工業振興条例の一部改正について	可決
議案第 31 号	小矢部市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第 9 条第 1 項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	可決
議案第 32 号	小矢部市下水道条例の一部改正について	可決
議案第 33 号	小矢部市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第 34 号	財産の取得について	可決

議案番号	議案名	議決結果
議案第 36 号	市道の路線変更について	可決
承認第 4 号	専決処分事項の承認について 専決第 3 号 小矢部市税条例の一部改正について	可決
承認第 5 号	専決処分事項の承認について 専決第 4 号 小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議員提出議案	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	可決
議員提出議案	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	可決
同意第 1 号	小矢部市農業委員会委員の任命について	同意

### ▼ 定例会中に報告された事項

議案番号	議案名
報告第 1 号	令和 5 年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告について
報告第 2 号	令和 5 年度小矢部市水道事業会計予算繰越計算書の報告について

議案番号	議案名
報告第 3 号	令和 5 年度小矢部市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

### ▼ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 ー：議長は表決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	山田吉晴	石間庄二	上田由美子	林登	竹松豊一	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵
議案第 28 号	令和 6 年度小矢部市一般会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	×	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第 35 号	富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	×	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	欠	○	○	○

## 議会 Q&A

### 議会 Q & A では、市民の皆さんの疑問にお答えいたします

#### 委員会って何ですか？

議案等を専門的・効率的に審査するため、常任委員会と特別委員会が設置されています。小矢部市議会では、各議員は 1 つの常任委員会、1 つの特別委員会に所属しています。また、議事の順序や進め方等を協議する議会運営委員会という委員会もあります。

#### 【資料】現在、設置されている委員会

- ・議会運営委員会
- ・総務産業建設常任委員会
- ・民生文教常任委員会
- ・総合計画特別委員会
- ・交通観光特別委員会
- ・広報広聴委員会
- ・予算特別委員会(予算時期のみ設置)
- ・決算特別委員会(決算時期のみ設置)



## 福島正力議員 逝去される



福島正力議員が、6月27日逝去されました。

福島正力議員は、平成22年の小矢部市議会議員選挙で初当選され、4期13年余にわたり市勢発展のためご活躍されました。  
ここに生前のご功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 行政視察を実施しました

### 総務産業建設常任委員会

- 視察日 5月8日(水)～10日(金)
- 視察先 熊本県宇土市 熊本県益城町 熊本県阿蘇市 熊本製粉株式会社
- 新庁舎の整備について

昨年完成した宇土市の新庁舎では、地震に強い免振構造を採用しており、実際に免振装置の視察をさせていただいた。また、光を取り入れる明るくワンフロアの庁舎のつくりは新庁舎建設の参考となった。

● 平成28年熊本地震からの復旧・復興に向けた取組みと新庁舎整備について

益城町では、災害時にも使用可能な下水道直結のマンホールトイレシステムを整備されていた。

● 観光施設と道の駅の取組みについて

阿蘇市では、市全体を博物館として捉えたASO田園空間博物館という農業と観光をリンクさせた取組を実施していた。今後、道の駅大規模改修を控えており、大変有意義な視察であった。

● 米粉事業の概要について

米粉を最新技術で粉碎し、大きな成果をあげていた。食料自給率を含め、農業施策の一つとして可能性を検討していくべきだと思った。

### 民生文教常任委員会

- 視察日 5月15日(水)～17日(金)
- 視察先 長野県南箕輪村 長野県佐久市 長野県上田市 新潟県糸魚川市
- 南箕輪村子育てハンドブックについて
- 保健補導員について

南箕輪村では、妊娠から出産、子育ての切れ目ない支援を分かりやすく子育てハンドブックにまとめられており、保護者に寄り添った内容となっていた。

● 保健補導員について

佐久市では、保健補導員を区の役割として位置づけられており、地域の保健意識の向上に繋がる取組が行われていた。

● 健康づくり(ウォーキング、歩健)について

上田市では、市民の健康づくりの向上のため、チャレンジポイント制度を始め、健康寿命を延ばすことに大いに役立てられていた。

● 子ども一貫教育方針について

糸魚川市では、0歳から18歳まで一貫した教育方針の下、市民総ぐるみで子育てが行われていた。小矢部市においても、少子化や、都会への流出が多くなっている中、郷土愛の醸成が大切だと思った。



## 9月 定例会のお知らせ

次の定例会は9月4日から24日までの21日間の予定です。ぜひ、本会議や委員会を傍聴しにお越しください。

※緑色の文字はケーブルテレビやYouTubeにて生放送を行う予定です。

9月 4日 (水)	10:00～	本会議	
6日 (金)	10:00～	本会議	提案理由説明
12日 (木)	10:00～	本会議	代表・一般質問
13日 (金)	10:00～	本会議	一般質問
17日 (火)	10:00～	委員会	総合計画特別委員会
	14:00～	委員会	民生文教常任委員会
18日 (水)	10:00～	委員会	交通観光特別委員会
	14:00～	委員会	総務産業建設常任委員会
24日 (火)	15:00～	本会議	質疑、討論、採決

## 編集後記



能登半島地震で被災した建物の公費解体や住宅の応急修理の予算が盛り込まれ、年度内の工事完了を目指すこととなります。また、被災し、現在地で建て替えることとなった市役所本庁舎については、秋の基本設計策定を前に、市民窓口の集約や免震構造の採用を検討するといった具体的な答弁がありました。

議会では、熊本地震で被災し昨年完成した熊本県宇土市と益城町を視察しました。災害に強く、利便性が高い庁舎であり両市町が7年かかったことを小矢部市では、4年でやりたいとしています。市民や職員の安全にかかわることから議論は丁寧にスピード感をもって進めることが必要であります。

議員と語ろう未来トークを11月30日(土)市民交流プラザにて14時から開催する予定としております。

(広報広聴委員会委員長 義浦記)  
次回の「OYABE VOICE」は、令和6年11月の予定です。